

浅香山中学校だより 第3号（6月号）



# 峠越え

令和8年5月29日  
堺市立浅香山中学校  
学校長 中谷 浩治



ホームページアドレス

<http://www.sakai.ed.jp/asakayama-i/>

携帯サイト

## 災害に強い学校作りについて考えましょう

～『一人の犠牲者も出さない』ためにすべきこと～

新学期開始から2ヵ月、生徒の皆さんにとっては学校生活のルーティンが定着してきた頃ですが、昨年の夏から始まった本館エレベータ設置工事がようやく終了しました。1年生の登下校にはこれまで南門を使っていましたが、5月末には仮囲いや工事事務所が撤去され、登校時は正門と西門、下校時は正門を使用する「通常の状態」に戻りました。とても長い期間不便な思いをさせてしまい、申し訳ありませんでした。

さて、毎朝先生が校門付近で登校の様子を見守ることが日常の風景となっています。それは生徒の皆さんに基本的な生活習慣として「時間を守ること」と「元気に挨拶を交わすこと」を心がけ、浅香山中学校のスタンダードにしてほしいという願いがあるからです。なお、以前に比べて登校時間を少し早めた人が増えたように感じると同時に、1年生の中であいさつの習慣が身につけてきた人が増えてきたように感じます。生徒の皆さんとともに、浅香山中学校をもっともっと良い学校にしていきたいものです。

先日、不審者対応訓練を行った際、安全指導員（警察OB）の方と私（校長）から、学校への不審者から身を守る方法について皆さんに伝えました。学校を訪れる人の多くは、保護者や地域にお住まいの方で、大切な用事のある方や進路関係で訪れる高校の先生など、浅香山中学校にとってはご縁のある方ばかりです。したがって、生徒の皆さんが外部からのお客様をすべて不審者ととらえる必要はありません。

ただ、どのような立場の方が浅香山中学校を訪れるにしても、生徒の皆さんに協力してもらいたいことは「あいさつ」です。すれ違う生徒や先生から次々「こんにちは」と声をかけられれば、人は「自分が見られている」という意識を持ちます。また、どのような気持ちを持っている人でも、あいさつによって温かい気持ちになり、そのことが学校の安全につながる可能性が高いのではないかと思います。



さあ次は地震発生に伴う火災を想定した避難訓練です。不審者対応訓練同様に、「みんなの命を守るため」の練習です。集団がいったんパニック状態に陥れば助かる命さえ助からなくなってしまいます。誰ひとり犠牲者を出さないためにはみんなの協力が絶対に必要です。

日	曜	授業・行事	昼食	日	曜	授業・行事	昼食
1	月	月1~5、6限避難訓練	○	16	火	火1~5、集会	○
2	火	火1~5、水3 2年堺市学調	○	17	水	水1~6	○
3	水	水1~6 1年堺市学調	○	18	木	木1~5 中教研A	○
4	木	木1~6 2年校外学習	○	19	金	金1~6	○
5	金	金1~6 教育実習最終日	○	20	土		
6	土	諸費振替日		21	日		
7	日			22	月	期末テスト①	
8	月	月1~5、水4 歯科検診	○	23	火	期末テスト② PTA花の植替え	
9	火	火1~5、月5 歯科検診	○	24	水	期末テスト③	
10	水	水1~6 3年プレテスト	○	25	木	木1~6	○
11	木	木1~6	○	26	金	金1~6	○
12	金	金1~6	○	27	土		
13	土			28	日		
14	日	テスト1週間前 諸費再振替日		29	月	月1~5、水3	○
15	月	月1~5、水5 水泳時間割	○	30	火	火1~5、金5	○

★15日（月）より水泳時間割開始 ★5日（金）諸費振替日、15日（月）諸費再振替日

## 国語科と英語科で教科担任2人体制の授業を行います

本校では今年度1年生の国語と1年生の英語において教科担任2人体制で少人数授業（習熟度別もしくは単純分割）を実施し、2年生の国語と3年生の英語で週1時間ずつTT（チームティーチング）授業を行っています。これは本校の教育課程を編成する上で、市教委に計画を申請し、加配教員が配置されることによって実施できるものです。

2人体制による授業は、生徒一人一人に先生が目が届きやすい学習環境と生徒が質問しやすい雰囲気を作るメリットがあります。少人数習熟度別授業は決められた年間時数割合30%以上をクリアするように進めていきます。習熟度別クラスは本人の希望を基本として、テスト結果や授業への取り組み姿勢等から判断します。また、英語科では全学年でNSの先生による授業や、2年でオンライン英会話を実施します。

↓【1年国語】

↓【1年英語】

↓【3年英語】



# 『 6/23 沖縄慰霊の日 』を間近に控えて



↑【沖縄】

2月末、アメリカとイランとの間に争いごとが始まり、多くの国々を巻き込んで解決の糸口が見えないまま3ヶ月が過ぎようとしています。

ロシアとウクライナとの争いごとすでに4年が経過し、この間、イスラエルとパレスチナ、インドとパキスタンとの間にも互いに攻撃しあい、人々も施設も被害が広がる一方です。

さて、毎年この時期に私は「沖縄慰霊の日」について触れるようにしています。日本もかつて多くの国々と戦って敗戦を経験しました。「第二次世界大戦」「太平洋戦争」「大東亜戦争」など様々な呼び方をされるこの戦争は、今から81年前の1945年に終結しました。同年3月末、アメリカ軍が沖縄県の慶良間諸島けらまに続いて沖縄本島に上陸し、この戦いによる犠牲者は計20万人以上で、県民の4人に1人が命を失ったことになるそうです。

日本の戦争は広島（8/6）と長崎（8/9）に投下された原子爆弾によって敗戦が決定的となり、1945年8月15日、昭和天皇は日本の降伏をラジオを通じて国民に伝えました。日本政府は毎年8月15日に全国戦没者追悼式を催すようになり、1982年にこの日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」と決めました。

今では世界各地から多くの人々が訪れる観光地として栄える沖縄ですが、今もなお広範囲にわたってアメリカの軍事施設が占有しています。沖縄県では、日本の軍隊機能が崩壊し、組織的な防衛戦闘が終結した日として、6月23日を恒久の平和を求め戦没者の霊を慰める「慰霊の日」と決めました。

## 4～5月 部活動等の主な記録

種目	大会名	入賞者・結果など
剣道	第1回全力錬成会 女子団体	第3位 2年女子
	堺市種目別大会 団体戦	第3位 Aチーム 3年男子（拠点校）
テニス	南大阪中学校春季大会 女子団体	準優勝 2・3年女子
テニス	同上 シングルス	準優勝 3年男子、ベスト8 3年男子

学校生活のキーワードは「和(わ)」「礼(れい)」「真(しん)」

「和」：仲良く、協力し合う気持ち。争いをやめること。

「礼」：敬うこと。感謝の気持ちを表すことば。礼儀。

「真」：いつわりでないこと。まじめなこと。真剣なこと。正しいこと。